

## 平成30年度 幼保連携型認定こども園すごう保育園自己評価結果

### 1. ○基本方針

- ・安全で安心して通える保育園の確立を目指しています。
- ・園児一人ひとりを大切にし、「丈夫な身体づくり、明るくのびのびした心を育てる」保育を目指します。
- ・社会性、協調性を基調として、生活習慣やしつけが身につく保育を目指します。

### ○教育・保育目標

- 「自然の中でのびのびと遊び、豊かな心と身体を育てる。」
- ・ことば遊び、絵本の読み聞かせ等により豊かな言語を育てる。
  - ・リズム遊びにより情操豊かな子どもを育てる。
  - ・生活習慣の確立を目指し、自立する子どもを育てる。

### 2. 平成30年度のテーマ

#### 「おだやかに、ていねいな言葉を使う」

言葉をたくさん覚える時期にある幼児期の子どもたちや、言葉を初めて耳にする乳児に対してかけられる言葉は、「穏やかな表情」で「穏やかな口調」で「愛しむ心が感じられる」「気遣い、思いやりがある言葉」であることが好ましく、常に子どもの思いを受け止め、人権を守り、子ども自身が落ち着いた環境の中で過ごせるように言葉かけをしていきたい。また、職員間のチームワークを高めるために、職員がお互いに気遣い合い、尊敬し合える関係であるように努めたい。

### 3. 目標・計画の達成及び取り組み状況

評価項目	自己評価	評価理由と取組状況
保育内容の共通認識	A	○乳児保育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの子どもの発達に合わせた援助を実施。</li> <li>・食事、排泄、着脱への意識づけをしている。</li> </ul>
		○幼児保育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢保育により相手を思いやる気持ちを育てる。</li> <li>・遊びや生活を通して人間関係や自然に係る楽しさを知る。</li> <li>・言語、体操、音楽、茶道等のステップアッププログラムを実施。</li> </ul>
		○職員会、保育士会等の会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修会を実施。</li> <li>・職員間の情報周知並びに確認を実施。</li> <li>・ヒヤリハット、事故について職員会議毎に確認し適宜委員会を実施。</li> </ul>
保育教諭の資質向上	A	○専門性を深めるための研修の充実・参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修、ことば遊び研修会、運動遊び研修会等に参加。</li> <li>・給食関係者研修会、食中毒・感染症研修会等に参加。</li> <li>・人権研修会、児童虐待防止研修会等。</li> </ul>
		○目標の設定および振り返り <ul style="list-style-type: none"> <li>・月案、週案、個別記録、保育日誌の記入等により各目標、課題を振り返り、反省を活かした保育を実施するよう努めている。</li> </ul>
保護者に対する支援及び情報提供	A	○子どもの成長の喜びを共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>・おたより帳の活用、保育参観、行事への参加を積極的に促している。</li> <li>・担任保育教諭・保育士との個別懇談会を実施。</li> </ul>
		○保育内容の説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページにブログをアップして保育園や園児の様子等を公開。</li> <li>・保護者に、園だより、グループだより、給食だよりを通して保育園の情報を定期的に提供。</li> </ul>

地域子育て支援	A	○保育園の機能の開放 ・子育て広場の開設による施設開放並びに子育て相談を実施。 ・延長保育、預かり保育を実施。
		○関係機関との連携 ・自治会との交流（農園、柿とり、ハロウィン等の行事を通じた交流）。 ・小学校、幼稚園との連携（運動会、音楽会）。 ・消防署、地域消防団との連携（AED使用講習、幼児消防団への参加）。 ・自治会、消防団との非常連絡網の編成。
健康及び安全	B	○健康 ・健康診断の実施（年2回の学校医、年1回の学校歯科医による検診）。 ・日常のプログラムを通して規則正しい生活習慣を身につける。 ・給食で、アレルギーを抱える一人ひとりのアレルギー食材とその反応時の様子を職員全員が把握し、給食関係職員と密に連携をとって適切に対応している。
		○安全 ・災害発生時の安全に備え、月1回の避難訓練を実施。 ・避難訓練・交通安全教室の実施並びに姫路市主催の防犯研修への参加。 ・虐待防止のため、身体的、服装等に異常が感じられる園児の視認と記録の実施並びにそれに伴う保護者との面談を実施。

#### 4. 今後の取り組むべき課題

保育内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての子どもに等しく教育・保育を保障し、展開していく。</li> <li>・行動・評価・反省を繰り返す中で、子どもに必要な環境、健やかな成長のための保育を目指す。</li> <li>・第三者評価を受審する。</li> </ul>
小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5歳児やその保護者が安心し、期待を持って進学できるように小学校の行事に参加、交流する。</li> <li>・小学校との子どもの引き継ぎのための業務を密に行う。</li> </ul>
子育ての支援の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援の必要な子ども（外国籍、発達障害等を含む）に対して、適切な援助、保護者との情報交流を密にとりあう。</li> </ul>

#### 5. 幼保連携型認定こども園すごう保育園に対する総合的な評価

総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページにブログを開設して保護者や第三者の方々に広くすごう保育園の様子を公開したり、未就園児対象に子育て広場を実施して参加者の口コミで保育園の情報を子育て中のお母さんに知ってもらうなど、適正に情報公開されていました。また、苦情、意見、要望に対して真摯に取り組むことにより保護者からの信頼を得ると共に、地域からの声にも前向きに答えるように努めており良好な関係を保つことができていると推察できます。安定した幼保連携型認定こども園で教育・保育を展開することを目指して保育教諭・保育士が研修研鑽に努め、子ども一人ひとりを大切にしたい指導計画を立案して実施されており、テーマである「おだやかに」保育をすすめ、「ていねいな言葉使い」で子どもたちが落ち着いた気持ちで保育を受けられている様子が見え、等々ことから、目標が達成できていると判断します。</li> </ul>
A	

※評価の表示について

A	全ての点で目標、課題が達成できている
B	目標、課題が達成されている
C	取り組まれているが、成果が不十分である
D	取り組みが不十分である